

人口減少を克服し、自然、文化、産業など特色・強みを活かし持続可能で活力ある未来を創造する

人口減少自体への対応

人口減少社会への適応

- ・希望出生率と現状のギャップ
- ・晩婚化と未婚化の進行

- ・若者、女性の転出超過
- ・産業経済の活性化の必要性

- ・生産年齢人口の大幅な減少
- ・生産性向上の必要性

- ・地域コミュニティの弱体化
- ・人口減少による様々な影響

基本目標 1

結婚・出産・子育ての
願いが叶う環境整備

自然減の歯止め

基本目標 2

産業振興、若者等の
雇用創出、観光振興、
県内への移住促進
社会増への転換

基本目標 3

女性・高齢者など
多様な人材の確保と
労働生産性の向上
労働力不足への対応

基本目標 4

活力あるまち・健や
かな暮らし・未来を
担う人づくり
地域の総合力アップ

県民希望出生率
「1.9」を目指す

基準 [2012] 1.37

[2030] 1.9

[2040] 2.07

(実績 [2017] 1.55)

若者女性の転入増、転出減
15～34歳の社会移動

基準 [2013] -1,550人

[2020] 移動均衡

(実績 [2018] +182人)

人口の社会増(全世代計)

基準 [2014] -1,147人

[2020] +100人

[2025] +200人

(実績 [2018] +519人)

1人当たり県民所得の
維持・向上を目指す

県民所得

基準 [2012] 307.7万円

[2020] 維持・向上

(実績 [2014] 318.5万円)

健康寿命の延伸

基準 [2010] 男 70.63歳(20位)

女 74.36歳(13位)

[2020] 男 72.74歳

女 76.32歳

(実績 [2016] 男 72.58歳(8位)

女 75.77歳(4位)

将来も富山県に住みたいと
考える高校生割合 [1999] 49.4%

基準 [2015] 59.8%

[2020] 60%以上

施策の具体例

項目① 結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進

■ 結婚を希望する男女の出会いの場の提供、ライフプラン教育の充実

- ▶ とやまマリッジサポートセンターの利用促進、婚活支援ネットワークの構築等による結婚支援体制の強化



■ 妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備

- ▶ 産前・産後ケア、周産期保健医療体制の充実
- ▶ 不妊症・不育症対策の推進

■ 多様な保育・子育て支援サービスの充実や子育て支援人材の育成

- ▶ 病児・病後児保育、延長保育、放課後児童クラブなどの支援体制の充実

■ 子育て家庭の経済的負担の軽減

- ▶ 第三子以降の保育料の原則無償化、低所得世帯の第一子、第二子の保育料の無償化・軽減、副食費の軽減
- ▶ 県営電気業収益を多子世帯の電気代に還元

■ 社会全体での子育て支援の機運醸成

- ▶ 第4子以上が誕生したご家庭へのお祝い

■ 仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進

- ▶ 「イクボス企業同盟とやま」のネットワーク拡大
- ▶ 企業を顕彰する県民運動を展開、県でも両立支援を後押しするため県庁内保育所を開設するなど働き方改革を推進



主なKPI

平均初婚年齢

夫31.0歳、妻29.2歳 ⇒ 1歳程度引き下げる

病児・病後児保育実施箇所数

82箇所 ⇒ 130箇所

とやま子育て応援団の利用度

53.7% ⇒ 70%

- 項目② 産業・地域経済の活性化
- 項目③ 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり
- 項目④ 観光の振興、定住・半定住の環境づくり

施策の具体例

- 「薬都とやま」の産業集積を活かしたライフイノベーションの推進
 - ▶ バイオ医薬品等の付加価値の高い医薬品の研究開発支援
- 最先端ものづくり産業の育成
 - ▶ 次世代自動車、航空機、ロボット等の成長分野の更なる振興に向けた支援の充実
- 農林水産業の競争力強化
 - ▶ 「富富富」、「富山のさかな」のブランド力強化
 - ▶ 「とやま醸造・発酵オープンラボ」の整備



- 若者の県内定着
 - ▶ 医薬品やアルミ分野のコンソーシアムによる、産学官が連携した研究開発や専門人材育成等を推進
- 選ばれ続ける観光地、ブランドカアアップ
 - ▶ 「立山黒部」、「富山湾」の国際ブランド化
- 定住・半定住の促進
 - ▶ 「富山暮らし・しごと支援センター」の体制強化
 - ▶ 国の移住支援金・起業支援金制度を最大限活用した、東京23区等からの移住促進



医薬品生産金額

従業者1人あたり付加価値額(製造業)

県立大学卒業生の県内企業就職率

観光消費額(宿泊+日帰り/観光・ビジネス)

6,089億円 ⇒ 9,000億円

985万円 ⇒ 1,100万円

42.0% ⇒ 55%以上

1,292億円 ⇒ 2,067億円 (6割アップ)

- 項目⑤ 女性が輝いて働ける環境づくり
- 項目⑥ 高齢者等が能力を発揮、活躍できる社会の実現
- 項目⑦ 多様な人材の確保と労働生産性の向上

施策の具体例

- 多様な人材のマッチング機能の強化
 - ▶ 若者、女性、高齢者等の就業支援機関を集約し「富山県人材活躍推進センター」を創設
- 女性の活躍促進、女性人材育成の推進
 - ▶ 「女性就業支援センター」による潜在的な求職者の開拓等
- 元気な高齢者が活躍するための支援
 - ▶ 社会活動を通じたエイジレス人材の育成促進
- 外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり
 - ▶ 「富山県外国人材活躍・多文化共生プラン(仮称)」の策定とそれに基づく取組みの推進

- 生産性の向上と産業の高度化支援
 - ▶ 県内企業のIoT・AIの導入促進
 - ▶ 「産業技術研究開発センター」で、新技術の研究開発から人材育成まで切れ目なく支援
 - ▶ バーチャルスタジオの積極的な活用による、効率的なデザイン開発・付加価値の高い製品づくりを推進
- 生産性の高い農業の展開
 - ▶ ICT技術などを活用したスマート農業の推進



主なKPI

研究者・技術者における女性の割合	11.8% ⇒ 14.1%
アセアン地域からの留学生受入数	19人/年 ⇒ 24人/年
農業産出額	643億円 ⇒ 698億円

- 項目⑧ 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり
- 項目⑨ 健康で安心して暮らせる社会の形成
- 項目⑩ 地域を担う人づくり



施策の具体例

■ 交通ネットワーク、魅力あるまちづくり

- ▶ 北陸新幹線の整備促進、道路ネットワークの整備、伏木富山港の機能充実、富山空港の利用促進
- ▶ 利便性の高い公共交通サービスの充実
- ▶ 中山間地域活性化のための総合的な支援

■ 健康寿命の延伸、医療や福祉の充実

- ▶ 健康寿命日本一の推進
- ▶ 認知症に対する正しい理解と見守り体制づくり
- ▶ 総合的ながん対策の推進、安心で質の高い医療サービス提供体制の整備充実、地域包括ケアシステムの構築

■ 環日本海地域の環境保全

- ▶ 「2016とやま宣言」に基づく環境保全

■ 「心の元気」を醸成する文化の振興

- ▶ 富山県美術館周辺の賑わいづくりや魅力的な企画展の実施等
- ▶ 「シアター・オリムピクス」や「とやま世界こども演劇祭」など、特色ある国際的文化振興事業の充実

■ 未来を拓く人材育成

- ▶ 発達段階に応じたキャリア教育の充実
- ▶ 「人生100年時代」を見据えたライフステージに応じた多様な学習の機会や場づくり

主なKPI 市町村等の地域連携協約の締結

⇒ 1圏域以上

認定看護師数

158人 ⇒ 300人

地域包括ケア活動実施団体登録数

⇒ 1,500団体

